

(ケース学習)突然心臓病の 70 代男性(前分析・分析/統合)

<前分析>

1. 印象:端正な顔立ち。真っ白い頭髮。年齢相応。表情はやや暗い・渋い。眉間に皺が刻まれ苦悩を抱えているかのような。口調は静かでソフト。やや自信なさげ(人見知りの感じ)
2. 健康度: 5~6
3. 予後:
 - ・良いレメディあり心臓病の回復とともに、身体全体が回復する。
4. 救急性(急性・慢性)=急性。(慢性の可能性もある)
5. 治癒を妨げているもの=投薬
6. 親和性(部位)=心臓(循環器)・神経・精神
7. マヤズム傾向=Psor.または Sycosis
8. 全体性=1つ(目先・急性)
9. バイタリティー=5~6

<分析/急に心臓病になった 70 代男性:特徴的な症状>

○身体面(急逝時)

- ・うつ血性心不全。
- ・心臓が弱っている
- ・急に息が苦しくなった
- ・肺に水が溜まっていた
- ・脈が時々、飛ぶ。
- ・鼓動は一定ではない
- ・脈は速く打ち且つ弱い
- ・息が苦しくなって、体全体も弱っている
- ・足に浮腫み
- ・立つと立ちくらみして、立っていられなくて倒れ込む
- ・ボーとしてしまうことがある。立つ際に、目が霞み、体を保てなくなる。
- ・座って目を閉じていると次第に良くなってくる。

<身体・まとめ>

○体質面

- ・40 代の頃、急に倒れて、意識も飛んだ。(その後、全部で 3 回起きた。)
- ・汗は額によくかく。人前だと冷や汗になる。
- 心臓が調子悪くなってから、冷や汗をよくかく。
- ・汗は手のひらにもじんわりかきます。
- ・寝汗もよくかく。
- ・酢の物が大好き。

○精神・感情面

- ・考え過ぎて、うつっぽくなる
 - ・表に立つのが嫌。陰の仕事の方が、性に合っている。
 - ・自分で考え抜いて、リーダーにアドバイスするのが良い。
 - ・サブの役割で、陰で動くのが良い。
 - ・表に出ると頭や手にたくさん汗をかく。身震いする。足がガクガク震える。冷や汗が出る。
 - ・リーダーにはなりたくない。責任は取りたくない。
 - ・頭の上にモノを落とされて、血が吹き出た覚えがある。痛かったが我慢していた。
- 罰ゲームで馬になり、上にドンドン乗られて潰されていた。
- 小さかったので、弱い立場だったのかも知れない。
- ・黙って我慢していた。自分さえ我慢すれば、うまく行くと思ってきた。
- 今も妻に対して合わせている。いちいち指摘される。俺の意見は無いのかと思う。
- ・元々、車は大好き。車の中にいる時が最高。自分のいうことをきくから。思い通り動くから。人だと、自分と相手は違う。違うものは嫌。自分から合わせて我慢するしかない。
 - ・人とぶつかって。もめるくらいなら、自分が我慢したら、うまく行くな、それが一番良いと思う。子供の頃から、ずっと我慢我慢で、やって来た。
 - ・窓にスタレを掛ける、外す。毎日の風呂掃除は、自分の役目です。
 - ・キレイ好き。風呂掃除の他に、ゴミ出しも必ずする。
 - ・細かなことが気になります。
 - ・想定外のことが起きると、その先々のことが頭に浮かび、様々なことをシミュレーションするように想像してしまいます。
 - ・高所恐怖があります。なぜか飛び込みたくなります。それが怖い。
 - ・死ぬかと思うと、ビビる。今回、心臓が悪くなって、余計に、死ぬことにビビるようになった。
 - ・上にヘイコラするのが嫌。上の人間が嫌だった。命令されたくない。任された仕事は、任せきって欲しかった。ああしろ、こうしろと言われたくない。それが嫌で、早期に(59歳で)退職しました。

<統合>

- ◎上記のような身体症状を持ち(突然心臓病になった)
 - ◎上記のような体質を持ち。
 - ◎上記のような精神感情症状を持つ キレイ好きで、自己抑制的で我慢強い男性。
- ・・・こういうレメディが必要